

2022年2月14日

オゼンピック皮下注 SD の製造輸出一時中止に伴う出荷調整への対応について

一般社団法人 日本糖尿病学会
公益社団法人 日本糖尿病協会

糖尿病診療に従事する皆様へ

持続性 GLP-1 受容体作動薬「オゼンピック皮下注 0.25mg SD、0.5mg SD、1.0mg SD」製造会社による同製品の製造と輸出一時停止のため、ノボノルディスクファーマ株式会社（以下ノボ社）から出荷調整および出荷停止が発生する見込みとの報告がありました。再稼働時期は現時点で未定とのことであり、一時的に欠品になる可能性があります。欠品になる場合には、状況がわかり次第お伝えいたします。

糖尿病診療に従事する皆様におかれましては以下の点に配慮し、ご対応をお願いいたします。

1. 現在出荷されているオゼンピック皮下注 SD の品質および安全性については懸念がないとのノボ社の見解です。
2. 安定供給が確保されるまでの間、オゼンピックを新規に処方しないでください。欠品を見越した大量処方決してしないでください。
3. 欠品となった場合には、患者の希望や生活様式を考慮して、代替薬（トルリシティ皮下注アテオス等）への切り替えを行ってください。
4. 代替薬投与にあたっては、血糖自己測定または血液検査等で適宜モニターし、急激な血糖コントロール悪化に注意してください。
5. 美容・痩身・ダイエット等を目的とした適応外使用は決してしないでください。

欠品のため2型糖尿病の治療中断や血糖コントロール悪化が危惧される事態は誠に遺憾であり、患者が適切な治療を継続して受けられるようノボ社にも強く要望しているところではありますが、皆様方におかれましてもご協力をお願いいたします。

以上